基本的なコール処理

機能やサービスを使用する基本的なコール処理を実行することができます。機能のアベイラビリティが異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合せください。

コールの発信：基本的なオプション

次に、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を紹介します。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合せ先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げて、番号を入力します。	P.9 の「電話機の概要」
スピーカフォンを使用してコールを発信する	を押して、番号を入力します。	P.46 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
ヘッドセットを使用してコールを発信する	を押して、番号を入力します。または、 が点灯している場合、**［発信］**を押し、番号を入力します。	P.46 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
番号をリダイヤルする	**［リダイヤル］**を押し、最後の番号をダイヤルするか、または、電話機がアイドルの状態で**ナビゲーション**ボタンを押し、発信履歴を参照します。	P.52 の「履歴の使用方法」
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（同じ回線を使用）	1. **［保留］**を押します。 2. **［発信］**を押します。 3. 番号を入力します。	P.23 の「コールの保留と復帰」
履歴からダイヤルする	1. > **［不在履歴］**、**［着信履歴］**、または **［発信履歴］**を選択します。 2. リストの番号を選択するかまたはスクロールして選択し、オフフックにします。	P.52 の「履歴の使用方法」

ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げるか、[**ダイヤル**]、 または を押して、オフフックにします。
- プレダイヤルする場合、この電話機には、発信履歴ログが利用可能な場合、そこから一致する電話番号を表示し、ダイヤルしている番号を前もって示す機能があります。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルを使用し、表示された番号をコールするには、番号を押すか、または番号をスクロールしてオフフックにします。
- 間違ってダイヤルした場合は、**<<** を押して、番号を消去します。

コールの発信：その他のオプション

この電話機で利用可能な特別な機能やサービスを使ってコールを発信することができます。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合せください。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合せ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（異なる回線を使用）	1. 新しい回線で ● を押します。最初のコールは自動的に保留状態になります。 2. 番号を入力します。	P.23 の「コールの保留と復帰」
短縮ダイヤルを使用する	次のいずれかの操作を実行します。 • ●（短縮ダイヤル ボタン）を押します。 • 固定短縮ダイヤル機能を使用します。 • ファースト ダイヤル機能を使用します。	P.34 の「短縮ダイヤル」
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	1. 📖 >［**社内ディレクトリ**］を選択します（名前は異なる場合があります）。 2. 名前を入力して［**検索**］を押します。 3. リストを強調表示し、オフフックにします。	P.52 の「履歴の使用方法」
Cisco WebDialer を使用し、パーソナル コンピュータ上の社内ディレクトリからダイヤルする	1. Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。	P.71 の「Cisco WebDialer の使用方法」
話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに、Cisco CallBack を使用して通知を受信する	1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに、［**折返し**］を押します。 2. 切断します。回線がフリーの状態のときは、電話機により通知されます。 3. 再びコールを発信します。	システム管理者

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合せ先
短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリストに関連付けられた回線が使用中であるかどうかを、その回線へのコールを発信する前に確認する	ビジー ランプ フィールドのインジケータを確認します。	P.45 の「BLF の使用による回線の状態の判断」
プライオリティ（precedence）コールをかける（SCCP 電話機のみ）	MLPP アクセス番号を入力し、電話番号を入力します。	P.43 の「重要なコールの優先順位付け」
Personal Address Book（PAB; 個人アドレス帳）のエントリからダイヤルする	1. ＞［パーソナルディレクトリ］を選択してログインします。 2. ［個人アドレス帳］を選択し、リストを検索します。	P.57 の「電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法」
課金コードまたはトラッキング コードを使用してコールを発信する（SCCP 電話機のみ）	1. 番号をダイヤルします。 2. トーンの後、CMC（Client Matter Code）、または FAC（Forced Authorization Code）コードを入力してから番号をダイヤルする必要があります。	システム管理者
Cisco Unified エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機のエクステンション モビリティ サービスにログインします。	P.44 の「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」

コールへの応答

ハンドセットを取り上げて、コールに応答することができます。または、電話機のその他のオプションが利用可能な場合、それらを使用することができます。

目的	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合せ先
ヘッドセットで応答する	が点灯していない場合は、押します。 がすでに点灯している場合は、[応答] または （点滅）を押します。	P.46 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
スピーカフォンで応答する	、[応答]、または （点滅）を押します。	P.46 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、（点滅）を押します。	P.23 の「コールの保留と復帰」
コール ウェイティングを使用して応答する	[応答] を押します。	P.23 の「コールの保留と復帰」
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押します。	P.27 の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」
自動接続コール	自動応答を使用します。	P.48 の「自動応答の使用方法」
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パークを使用します。	P.40 の「パークされているコールの保存と取得」
電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	P.36 の「自分の電話機で他の電話機の着信に応答する」
プライオリティ コールに応答する（SCCP 電話機のみ）	現在のコールを切断して [応答] を押します。	P.43 の「重要なコールの優先順位付け」

コールの終了

コールを終了するには、切断します。詳細を次に示します。

目的	必要な操作または状態の説明
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または［終了］を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	を押します。ヘッドセット モードをアクティブに保持する場合は、［終了］を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	または［終了］を押します。
複数のコールがある場合に 1 つのコールだけを切断する	［終了］を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールを保留および復帰することができます。

目的	必要な操作または状態の説明
コールを保留にする	**1.** 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。 **2.** ［保留］を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	**1.** 該当するコールが強調表示されていることを確認します。 **2.** ［復帰］を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	該当する回線で を押します。 この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留の場合、該当するコールをスクロールし、［復帰］を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 保留状態のコールは、保留アイコン で示されます。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットと連動してミュートを使用できます。

目的	必要な操作または状態の説明
ミュートをオンにする	を押します。
ミュートをオフにする	を押します。

複数のコール間の切り替え

1 本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、ナビゲーション ボタンを使用してそのコールまでスクロールします。

目的	必要な操作または状態の説明
同じ回線で接続されているコールを切り替える	**1.** 切り替えるコールが強調表示されていることを確認します。 **2.** **[復帰]** を押します。 アクティブ コールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。
異なる回線で接続されているコールを切り替える	切り替え中の回線で 緑 を押します。 この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留の場合、該当するコールを強調表示し、**[復帰]** を押します。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	**[応答]** を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、橙（点滅）を押します。アクティブ コールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。

複数のコールの表示

電話機に複数のコールを表示する方法を理解することで、コール処理の計画に役立ちます。

標準表示モードで、この電話機は、次のように強調表示されている回線でコールを表示します。

- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、グループ化されて表示されます。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、そして保留状態のコールは末尾付近にグループ化されます。

次に示すその他の方法を利用し、複数の回線の複数のコールを表示できます。

目的	必要な操作または状態の説明
別の回線のコールを表示する	**1.** ? を押します。 **2.** すぐに回線ボタン● を押します。
コールの概要モードに切り替える	強調表示されている回線で ● を押します。 電話機がコールの概要モードに切り替わり、回線ごとに 1 つのコールが表示されます。表示されているコールは、アクティブなコール、または通話時間の最も長い保留中のコールのいずれかです。 標準表示モードに戻るには、? を押してから、すぐに回線ボタンを押します。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	必要な操作または状態の説明
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	1. アクティブ コールから、[**転送**] を押します。 2. 転送先の番号を入力します。 3. [**転送**] を再び押して転送を完了するか、[**終了**] を押してキャンセルします。 **（注）** 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断することによって交互に転送を完了することができます。
転送先の相手と会話してからコールを転送する（打診転送）	1. アクティブ コールから、[**転送**] を押します。 2. 転送先の番号を入力します。 3. 相手が応答するのを待ちます。 4. [**転送**] を再び押して転送を完了するか、[**終了**] を押してキャンセルします。 **（注）** 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断することによって交互に転送を完了することができます。
通信を継続せずに、2 つの現在のコールを相互に転送する（直接転送、SCCP 電話機のみ）	1. その回線における任意のコールをスクロールして強調表示します。 2. [**選択**] を押します。 3. 2 番目のコールに対しても同じ処理を行います。 4. 選択したコールの 1 つが強調表示されている状態で [**D 転送**] を押します（[**D 転送**] を表示するために、必要に応じて [**次へ**] を押します）。 2 つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。 **（注）** 発信者との通信を継続する場合は、代わりに [**参加**] を使用します。
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	[**即転送**] を押します。詳細については、P.27 の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」を参照してください。

ヒント

- 電話機のオンフック転送が有効になっている場合は、切断してコールを完了するか、[**転送**]を押してから切断することができます。
- 電話機のオンフック転送が有効でない場合は、[**転送**]を再び押さずに、切断することで、コールを保留にします。
- [**転送**]を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。[**復帰**]を押して、転送前にコールの保留を解除してください。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[**即転送**]を使用して、アクティブ、呼出中、または保留中のコールを自分のボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[**即転送**]を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを送信することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、[**即転送**]でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記のオプションをサポートしていない場合、[**即転送**]を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。

目的	**必要な操作または状態の説明**
アクティブ、呼出中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	[**即転送**]を押します。次のどちらかになります。 • コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。 • 電話機のスクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[**即転送**]をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。

別の電話番号へのすべてのコール転送

［不在］を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

目的	必要な操作または状態の説明
プライマリ回線のコール転送を設定する	［不在］を押し、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線のコール転送をキャンセルする	［不在］を押します。
プライマリ回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	確認： • プライマリ電話番号にコール転送アイコン が表示されていることを確認します。 • ステータス行でのコール転送の転送先番号
プライマリでない回線のコール転送をリモートで設定またはキャンセルする	1. ユーザ オプション Web ページにログインします（P.62 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照）。 2. コール転送設定にアクセスします（P.69 の「Web での回線設定の制御」を参照）。 **（注）** コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。その代わりとして、ユーザ オプション Web ページで設定を確認する必要があります。

ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することができます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線のコール転送条件を変更できます。

サイレントの使用

(SIP 電話機のみ)

サイレント機能を使用して、電話機にかかってくる着信コールをビジー音でブロックできます。

目的	必要な操作または状態の説明
サイレントをオンにする	1. >[デバイス設定]>[コールの設定]>[サイレント]を押します。 2. [Yes]を選択し、[保存]を押します。 ステータス行に「サイレント」と表示され、[サイレント]ソフトキーが追加されます。
サイレントをオフにする	[サイレント]ソフトキーを押すか、次の操作を実行します。 1. >[デバイス設定]>[コールの設定]>[サイレント]を押します。 2. [No]を選択し、[保存]を押します。

ヒント

- サイレントがオンの場合は、次のようになります。
  - サイレント ブロック機能は、使用している電話機のすべての回線に適用されます。
  - 着信コールは、電話機の不在履歴ディレクトリに記録されません。
- 電話機で[サイレント]と[不在]の両方が有効になっている場合は、着信コールに対して[不在]が優先されます。つまり、コールは転送され、発信者にビジー音は聞こえません。
- 電話機で[サイレント]が有効でない場合は、システム管理者にお問い合せください。

会議コールの使用方法

Cisco Unified IP Phone では、3 つ以上の別個のコールを 1 つの会話に集めて、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の（アドホック）会議と Meet-Me 会議の 2 つのタイプがあります。

標準の会議コール

電話機のソフトキーが使用可能である場合、必要に応じて、複数の方法で標準の会議を開催できます。

- **[会議]**：このソフトキーは、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で利用可能なデフォルトの機能です。
- **[参加]**：このソフトキーは、すでに同じ 1 本の回線にある複数のコールに参加することにより、標準の会議コールを開催するときに使用します (SCCP 電話機のみ)。
- **[C 割込]**：このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加し、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機だけに利用可能です。

手順の詳細については、P.31 の「標準の会議の開催と参加」を参照してください。

Meet-Me 会議コール

指定された時間に Meet-Me 電話番号にコールを発信して、Meet-Me 会議を開催できます。

手順の詳細については、P.33 の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」を参照してください。

標準の会議の開催と参加

標準の（アドホック）会議では、1 つのコールに 3 名以上の人々が参加できます。

目的	必要な操作または状態の説明
• 参加者にコールを発信して会議を開催する • 既存の会議に新しい参加者を追加する	**1.** 接続コールから、**［会議］**を押します。（必要に応じて、**［会議］**を表示するために**［次へ］**ソフトキーを押します）。 **2.** 参加者の電話番号を入力します。 **3.** コールの接続を待ちます。 **4.** **［会議］**を再び押して、新しい参加者をコールに追加します。 **5.** この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。
2 つ以上の既存のコールを参加させて、会議を開催する（SCCP 電話機のみ）	**1.** 1 つの回線に 2 つ以上のコールがあることを確認します。 **2.** 会議に追加するコールを強調表示します。 **3.** **［選択］**を押します。 コールを選択すると、 のアイコンが表示されます。 **4.** 追加するすべてのコールについて、それぞれ同じ処理を行います。 **5.** 選択したコールのいずれかで、**［参加］**を押します（必要に応じて、**［参加］**を表示するために**［次へ］**ソフトキーを押します）。 **（注）** アクティブ コールが自動的に選択されます。
会議に参加する	呼出音が鳴ったら電話機に応答します。
共有回線のコールに割り込み、会議を開催する	共有回線でコールを強調表示し、**［C 割込］**を押します（必要に応じて、**［C 割込］**を表示するために**［次へ］**ソフトキーを押します）。 P.37 の「共有回線の使用」を参照してください。
会議の参加者のリストを表示する	**1.** アクティブな会議を強調表示します。 **2.** **［参加者］**を押します。 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、**［更新］**を押します。
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた人物）を検索します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	**［ドロップ］**を押します。 参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。

目的	必要な操作または状態の説明
会議の任意の参加者を削除する	**1.** 参加者の名前を強調表示します。 **2.** ［**削除**］を押します。 参加者を削除できるのは、会議の開催者だけです。
会議への参加を終了する	切断するか、または［**終了**］を押します。

ヒント

- 会議に複数のコールを追加するには、それらのコールが同じ回線にある必要があります。コールがそれぞれ異なる回線にある場合は、それらのコールを 1 本の同じ回線に転送してから［**会議**］または［**参加**］を押します（［**参加**］を使用できるのは SCCP 電話機のみ）。
- 電話機の設定内容によっては、会議を開催した後でその会議を切断すると、会議が終了する場合があります。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから、切断します。

Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議では、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

目的	必要な操作または状態の説明
Meet-Me 会議を開催する	1. システム管理者から Meet-Me 電話番号を取得します。 2. 参加者に番号を配布します。 3. 会議を開催する準備ができたら、オフフックにしてダイヤル トーンを呼び出し、［ミートミー］を押します。 4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 ダイヤルインすることにより、参加者は会議に参加することができます。 **（注）** 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、参加者はコールバックする必要があります。
Meet-Me 会議に参加する	Meet-Me 会議番号をダイヤルします（この番号は会議の開催者から提供されます）。 **（注）** 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、再びコールします。
Meet-Me 会議を終了する	参加者全員が、切断する必要があります。 会議の開催者が切断しても、会議は自動的には終了しません。